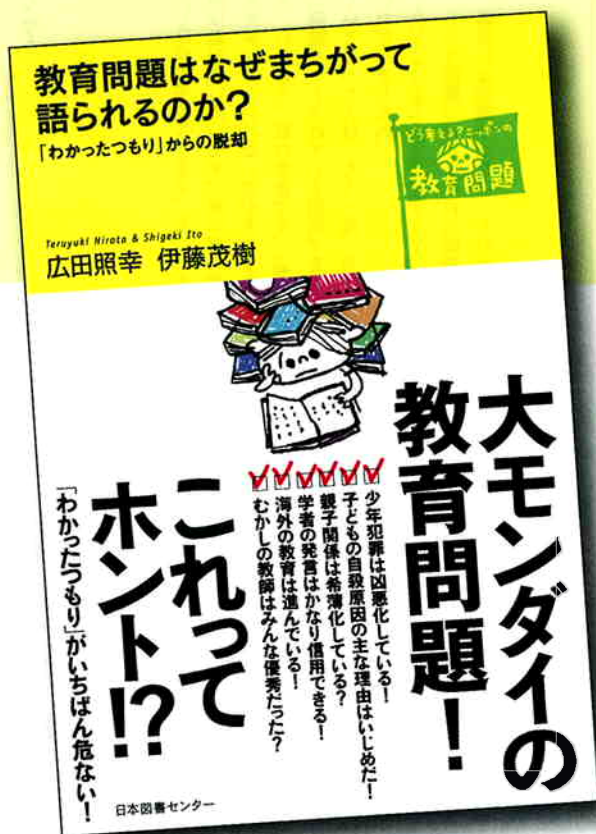


どう考える？

ニッポンの教育問題

「教育問題ってなんだろう？」そんな疑問を持ちはじめた10代の学生から、「もっと考えてみたい！」大人まで、すべての人に贈る書き下ろしシリーズ！！

新シリーズが誕生です！



◎四六判・ソフトカバー（平均290頁）

◎各巻本体1,500円＋税

特色

1 【教育問題の最新動向やその構造、考え方がわかる！】

アップ・トゥ・デイト、かつ普遍的なテーマを、刺激的な書き手がわかりやすく書き下ろします。

2 【《わかる》だけじゃない！《考える》ことを重視した内容！】

「こうすれば良くなる！」といったHow to本とは異なり、どの巻も「読者に自分で考えてもらうこと！」を意識した内容にしています。書き手はテーマに関する基本的な知識や考え方を説明したうえで、読者に「あなたはどのように考えますか？」といった問いを投げかけます。

3 【新書レベルの内容。だけど、新書よりずっとわかりやすい！】

高校生でも新書レベルの内容を読みこなせるように工夫してあります。

- ① 文体は読者に1人ひとりに語りかけることを意識した「です」「ます」調。
- ② 難しい漢字には「ルビ」をふり、概念や制度などについてはイラストを使って解説。
- ③ ニュース、小説、漫画、著者の体験などの例をふんだんに使いながらテーマを説明。

4 【ブックガイドも充実！】

読者が自分自身でテーマを広げて考えられるよう、初学者向けの「ブックガイド」もつけました。



読みやすく
おもしろい!

① そもそも教育問題って？

「社会的に」がポイント

この第1章では、「教育問題とは何か」という点を考えてみます。もつとも基本的な問いです。答えがわかりきっているようで、実は奥が深い問いです。後の章の前提になる部分として、みなさんにきちんと理解していただかないといけない点があります。

「教育問題」を簡単に定義しておきましょう。いちおう、仮の定義です。「教育問題とは、教育に関する事項について、社会的に『問題だ』とされている問題である」と。後半がゴチャゴチャしていますかね。わかりにくいと思っただ人は、もう一度、カッコの中を読み直してみてください。——はい、読んでいただけましたね。

この定義の重要な点の一つは、「社会的に」という点です。社会の多くの人に関わる問題、あるいは、社会が取り組んでいくべき問題、という位置づけがなされた問題だ、ということです。逆にいうと、単なる個人的な問題、個別的な問題ではない、ということなのです。

本文組見本 (約80%縮小)

★ 続刊予定 ★ (タイトルは変更になる場合もございます。)

若者とキャリア—「ルールなき時代」を生き抜くために—
見美川孝一郎 著

みんなのための大学—授業料がタダになる日—
矢野真和 著

学校へいく意味・休む意味—不登校ってなんだろう?—
滝川一廣 著

いじめ問題を考える
加野芳正 著

この他、充実のラインアップで
シリーズ全20巻を予定しています!



【第1回配本】

9月15日 2冊同時刊行!

教育問題は
なぜまちがって
語られるのか?

—「わかったつもり」からの脱却—

広田照幸・伊藤茂樹 著

定価: 本体1,500円+税 ISBN978-4-284-30442-9
四六判・ソフトカバー・約270頁

教育界のオピニオンリーダーとして活躍する、
広田照幸と気鋭の研究者・伊藤茂樹が書き下ろす
`教育問題を考えるため、の「超」入門書!!

人間失格?

—「罪」を犯した少年と社会をつなぐ—

土井隆義 著

定価: 本体1,500円+税 ISBN978-4-284-30443-6
四六判・ソフトカバー・約310頁

『友だち地獄』、『キャラ化する/される子どもたち』などで、いま最も注目をあつめる社会学者・
土井隆義が書き下ろす『少年犯罪』を
考えるための必読の一冊!!

書店印	日本図書センター	TEL 03-3947-9387 FAX03-3947-1774
	教育問題はなぜまちがって語られるのか?—「わかったつもり」からの脱却— 広田照幸・伊藤茂樹 著 本体1,500円+税 ISBN978-4-284-30442-9	冊
	人間失格?—「罪」を犯した少年と社会をつなぐ— 土井隆義 著 本体1,500円+税 ISBN978-4-284-30443-6	冊
	ご住所(〒)	
	お名前	
	ご連絡先	

(株)日本図書センター

〒112-0012 東京都文京区大塚3-8-2

TEL03-3947-9387 FAX03-3947-1774